

2008年6月4日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

### ISiD、子会社2社でCMMIレベル3を達成

株式会社電通国際情報サービス(本社：東京都港区、資本金：81億8,050万円、代表取締役社長：水野紘一、以下 ISiD)は、子会社である株式会社ブレインワークス(本社：東京都港区、資本金：4億3,788万円、代表取締役社長：竹内英昭)および株式会社 ISiD インターテクノロジー(本社：東京都港区、資本金：3億2,600万円、代表取締役社長：杉浦廣道)が、ソフトウェア開発の能力成熟度モデル CMMI (\*1) のレベル 3(\*2)を達成したことを発表いたします。

ISiD グループでは、2006年度からソフトウェア開発プロセスの標準化および最適化に向けた取組みを開始し、2007年1月にCMMIに準拠した「ISiD 全社ソフトウェア開発プロセス = i\*yes (アイズ) プロセス」を開発、制度化しました。ブレインワークスおよび ISiD インターテクノロジーでは、2007年4月以降に開発着手したソフトウェア開発案件に i\*yes プロセスを適用し遂行した結果、2社のソフトウェア開発のプロセス成熟度がCMMI レベル3の水準に到達していることが、2008年5月に実施した米国カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所の公認アプライザーによるアプライザル(評定)により確認されました。なお ISiD の金融ソリューション事業部およびエンタープライズソリューション事業部では、既に2008年4月に実施したアプライザルにおいて、CMMI レベル3の達成が確認されております。

この取組みは、ISiD グループが長年にわたり培ってきたソフトウェア開発技術とプロジェクト管理の手順やツール・手法の標準化を行い、見える化し、さらにそれらを自己改革していく仕組みを実現することによって、お客様の高度化する IT ニーズに合うスピードで、最適なソリューションを提供し続けることを目的としています。

今後は、i\*yes プロセスの更なる適用・定着を推進し、さらにCMMI レベル5の達成を目指す予定です。

[関連リリース ISiD、2事業部でCMMIレベル3を達成\(2008年5月12日付\)](#)

\*1 CMMI (Capability Maturity Model Integration : 能力成熟度モデル統合)

米国カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所 (SEI) が開発した製品開発組織のプロセスの成熟度を評価する仕組みで、実存する成功企業・失敗企業を数多く分析して開発されたモデルである。近年日本でも IT ベンダーの客観的評価指標として関心が高い。レベル 1 (初期段階にある未成熟な段階) からレベル 5 (自律的にプロセスを最適化している段階) までの 5 段階に分けられる。

CMMI は、米国カーネギーメロン大学の米国における登録商標です。

\*2 CMMI レベル 3 : 組織レベルでプロセスが標準化された段階

【お問合せ先】

株式会社電通国際情報サービス

事業推進本部 品質監理部 丸藤純夫 (まるふじ すみお)

TEL:03-6713-6076

< 電通国際情報サービス (ISID) 会社概要 >

社名 : 株式会社電通国際情報サービス (略称: ISID)  
代表者 : 代表取締役社長 水野紘一  
本社 : 東京都港区港南 2-17-1  
U R L : <http://www.isid.co.jp/>  
設立 : 1975 年  
資本金 : 81 億 8,050 万円  
連結従業員 : 2,201 人 (2008 年 3 月 31 日現在)  
連結売上額 : 773 億 1,100 万円 (2008 年 3 月期)  
事業内容 : 1975 年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、製造業向けソリューション、金融業向けソリューションを始め、会計分野、ERP 分野、マーケティング分野など、多方面にわたって積極的な事業展開を図っております。

本リリースに関する問い合わせ先: 経営計画室 広報担当 森・李  
TEL:03-6713-6100 E-Mail: [g-pr@isid.co.jp](mailto:g-pr@isid.co.jp)

\* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。